

令和6年度 地域おこし協力隊 活動報告

上越市板倉区 筒方地区

前倉 善和

活動の概要

活動地域

板倉区筒方(どうがた)地区

筒方・栗沢・大野新田・上関田・下関田・達野の6集落

活動期間

令和5年4月20日～

ミッション

そばを活用した地域活性

特産品の販売・開発

2年目のテーマ

「魅力を共有する」

旨いものを守り広げるためにできることを考え、始める

活動Ⅰ そば

●「この美味しいそばは、どこで食べられますか？」

…美味しさと、筒方ブランドの共有

→積極的な茹でそばの出店展開

従来より参加していた大規模イベント以外での茹でそばの出店

- ・全6イベントすべてで午前中から正午頃に完売
- ・次のイベントや生そば注文、体験教室につなぐことができた

●「打ち手・売り手が足りません」

…筒方そば関連人口と技術の共有

→体験講座

体験講座の受託・開催・昨年度育成講座人員との繋がり

そばの振り返りと今後

大規模イベントの茹でそば出店
(100km マラソン、ふれあいまつり等)
「これは店で食べられるのか」
→また食べたいのニーズ

他イベント出店

全6 イベント 100食準備
ピーク前に完売
→今後も販売期待できる

課題

1. 打ち手・販売要員の確保
2. 今後衛生関連の制約が
更に厳しくなる想定

解決のために

今後

打ち手：体験や教室を展開拡大
販売要員＋衛生：
キッチンカー導入

活動2 特産品

●「滅多に食べられないものになりました」

…美味しさの共有

→元来の素材・加工法を活かし、商品化できないか試作

麴・味噌・加工味噌・山菜・漬物

→食べてもらえる機会を作る

いたくら亭夜営業試行・特産品販売ランチ試行・新そばまつり山菜復活

●「面倒だからやめました」

…加工技術の継承

→山菜採取と消滅しつつある加工技術習得

特産品の振り返りと今後

山菜採取・加工
縮小も需要は多い
→継承のニーズ

試作・習得

地域の協力を得ながら
イベントでの試験的提供
→今後も販売期待できる

課題

1. 手間と時間がかかり、継承者も少ない
2. 商品化できる加工場ない

解決のために

今後

田舎体験ができる加工場を構え
体験を受け入れる。
長期保存や1次加工の研究模索

活動3 農作物栽培

●「放置された田畑が増え続けている」

…引き継ぐことができるか検証

→ 農業とは何か 実際に田畑から学ぶ

土地を守るための作業、関連法、栽培の方法と必要な設備、環境との兼ね合い

→ 「耕作地として」活用していく意義と強み

住民の活躍しやすさ、環境、食

●「作っても割に合わない」

…栽培と販売の現状

→ 高く売れないが、設備や機械、資材等資金が必要

販売目的よりも、加工品として事業で利用できる品目の選別

農作物の振り返りと今後

「食」が最大の強み
耕作放棄が増え続ける
→強みの危機+荒地拡大

耕作通年体験

1日体験では学べない
耕作の流れを把握
→今後の継承可能性？

課題

1. 農繁期のサポート負担
2. 機械設備と農地取得

解決のために

今後

機械設備負担大の稲作は休止。
加工原料となる作物栽培継続。
農地について行政書士相談。

活動 4 集落体験サポート

●「田舎体験したい」

…自然と文化の体験を共有

→受け入れ準備のサポート

筒方クラブで受託した小学生の集落体験について、
希望の聞き取り、事前準備、片付け

山菜取り・校区写真撮影ツアー・田植え・じゃがいも堀り
・光ヶ原高原ツアー・関田古代詞を学ぶ・稲刈り・ぼたもちづくり
・糠釜で炊飯・雑煮づくり 等

小学生 1クラス 30 余名で月に1~2 回の活動

農作物の振り返りと今後

課外活動としての
年間を通した集落体験要請
→田舎体験の需要

開催支援

受け入れ準備を学べた
→継承していけるのか

課題

1. 受け入れ側人員確保
2. 予算と希望のギャップ

解決のために

今後

体験施設を開設し、
収穫・そば打ち・食品加工を
小規模単発の体験を受託

2年目全体の振り返り

1年目の活動を現状理解に特化し、
魅力はそのままに課題にどう対応していけばいいかを試行できた2年目であり、
課題がより具体的になったことはよかった。

そば、特産品、田畑、文化交流…他
求められ途絶えさせてはいけない文化が
地域の方々の大きな貢献がありながらも縮小に向かっている。
更に理解を深め力をつけながらその貢献に加勢すると同時に
茹でそば提供・キッチンカー・食品加工場・加工原料生産・田舎体験 等
途絶えた方法・これまでと違う方法も使って
多くの魅力を広く伝え、地域の方々も味わう側の人々もどちらも
筒方の魅力を一緒に楽しめる環境を作っていく活動をしたと感じた。

最終年の活動計画

3年目のテーマ「魅力を伝える」

●定住に向けての活動

「体験交流施設」開業準備・試行

そば打ち道場・販売所・食品加工場・体験農場 他

●引き続き

イベント出店・そば打ち体験

・山菜採取・加工原料栽培・加工製品試作